

# 全薬会議・道修町ニュース 第35号

2011年12月

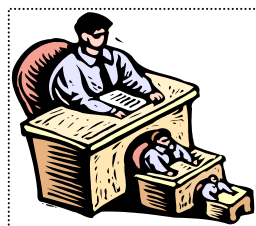
## 薬業総行動が行われました

全薬会議は、11月22日早朝より医療制度改悪反対、薬害根絶を求めて薬業総行動に取り組みました。厚労省前のビラ配布でスタートし、厚労省ではTPPや肺がん治療薬イレッサをはじめとする薬害問題等について交渉に臨みました。全薬会議は、TPP参加は医療崩壊がさらに深刻になるので不参加を要請。これに対して厚労省は、「諸外国から混合診療の解禁、薬価制度の変更、株式会社の病院経営参入を要求された場合でも、患者負担の拡大や安全な医療が提供されなくなる恐れがある事から、原則としてこれまでの基本的な仕組みを堅持する」と回答。薬害問題では、早期救済と共に、全ての医薬品を救済制度の対象とするように要請。厚労省は「(抗がん剤は)現行法で救済の仕組みがない。現在検討会を設置して対応している」と述べました。そして高齢者再雇用問題、製薬企業・医療機器企業の労使関係等でも熱心な討議を行いました。

その後、製薬協、東機貿、東洋薬業、バクスターへ要請行動。宮本さん支援では、東機貿社長宅周辺ビラ配布、虎ノ門病院、順天堂医院、東京医科歯科大で門前ビラ配布を実施しました。

翌日の23日の「イレッサ薬害訴訟における国・企業・関係学会の責任」と題したシンポジウムにも参加しました。(和田・谷澤記)

## フクダライフテック榎谷さん裁判、和解成立！



私は、平成21年7月8日に内部告発を理由に13年余り勤めてきた会社から懲戒解雇を言い渡されました。現会社代表者富島が就任してから、実際には支払われて

いないお金の申請書を社員に作らせたり、病院に使用していないレンタル機器の請求を発生させる等の不正な経理処理、又特定の女性を優遇する等の情実人事やセクハラ・盗撮事件等が行われておりました。

この状況をどうにかしなければという愛社精神から社員4名で本社に対し、この現状を嘆願書として報告しようという事になり告発したのです。

しかしながら、その行動に対しての会社の結論は、逆に告発した人間を懲戒解雇にするという到底納得いかない処分でありました。

それから約2年半、裁判では富島代表への恨みから話をでっちあげたと主張する会社側の反論を覆すため元同僚や労働組合の協力をもらい、沢山の証言や資料を集め頑張ってまいりました。又、運動としては病院前や会社近くでの宣伝行動、フクダ電子本社や厚生労働省、各労組、民主団体への要請行動などを行い会社にプレッシャーを与え続けました。その結果、去る11月14日裁判所が間に入り和解が成立致しました。内容には懲戒解雇の撤回とその周知徹底や退職金の支払いなどが含まれております。同僚達も退職したこともあり、職場復帰する事ができなかったのが残念ですが、子供4人を育てる父親としてこの経験を糧にして新たな職場で頑張っていきたいと思えます。

本当に皆様方のご支援、ご協力に感謝致します。ありがとうございました。(榎谷 誠)

**榎谷さん裁判報告集会 12月15日(木) 19:00、吹田市民会館**

## クラリアントジャパン下瀧さん裁判、和解成立！

11月14日に行われた和解協議の結果、和解が成立しました。皆様のご支援ありがとうございました。

## 東機貿・宮本さんの裁判支援を

11月4日に開かれた第9回弁論で、主治医に対する書面尋問の協力が得られる確認が取れたため、医師への尋問内容の確認を原告・被告双方で行い、11月末までに提出を依頼することとなりました。

一方、労災給付金が、11月末にて打ち切られたため、地位保全の仮処分申請を行いました。初回、来年1月11日に大阪地裁にて弁論が行われます。

これら、仮処分申請に伴い、賃金請求のための準備書面に対して会社側は、賃金の内容の中の通勤手当

に関しては、実際に通勤している者でないと支給されないなどの反論を返してきています。

次回、12月16日の裁判の傍聴支援を宜しくお願い致します。

\*現在、ユーチューブにて“東機貿”で検索いただけたら、私の組合宣伝活動の動画をアップしております。みなさん、是非いますぐアクセスしてください。宜しくお願いします。

(こぶし東機貿分会 宮本健司)

**次回公判:12月16日(金) 10:30、大阪地裁611号法廷**

**仮処分申請弁論:1月11日(水) 13:30、大阪地裁**

### 原発学習会を開催しました。



11月5日午後、元関電労働者であり、原発反対運動を進めておられる速水さんを迎えて原発学習会を開きました。速水さんは関電で

思想差別裁判を30年間闘って最高裁での完全勝利を勝ち取った方で、柔らかい語り口で複雑な原発・エネルギー問題について分かりやすく説明されました。講演では、地球を回って伝わった津波の話

からはじまり、原発の現状、関西の原発、核燃料サイクル、原発のコスト、自然エネルギーへの転換、第3次産業革命の可能性まで多岐に語っていただきました。また講演後の質疑応答では参加者からの広範囲に及ぶ多くの質問に丁寧に対応いただき、参加者一同大満足の講演でした。脱原発と自然エネルギーへの思いを確信した1日でした。

(佐々木記)

### 納涼鴨川床料理の集い開催

9月10日(土)京料理「佐々木」で、今年で9回目となる「納涼鴨川床料理の集い」を開催しました。田辺製薬契約社員であった中国人研究員・苗さんの過労死裁判弁護団の上出弁護士と友人の和田弁護士、古くからの会員である遠藤さんの3名の初参加者を含め19名の参加でした。いつものように、板長から料理の説明を受けた後、贅沢な料理に舌鼓を打ちながら、全員から自己紹介、活動報告があり、交流を深めました。当日、京都で行われた「原発ゼ

ロをめざす集会」に参加された方々からは、原発をなくす運動の重要性が報告されました。床料理は初めてという上出・和田両弁護士からは「床料理に堪能しました。来年も参加したい」との感想を述べられていました。

(西脇記)



全国薬業労働者連絡会議(全薬会議)・道修町

大阪市中央区道修町 3-3-10 大阪屋道修町ビル 601号 大阪中央区労連気付

<http://zenyakudoshomachi.jp/>